

# MailAI Reach 設定説明書

対象バージョン：MailAI Reach v1.0.0 以降 | 文書バージョン：v1.1

作成日：2026年4月22日 | 最終更新：2026年5月4日

販売元：AiToolLabo support@aitoollabo.com

v1.1 更新内容：データ共有フォルダ機能（複数PC間でDB・提案資料を共有）を追加しました。該当箇所は「3. Reach設定タブ」「9. データ保存場所一覧」「10. データ共有フォルダの設定」に反映されています。

## 目次

1. 設定の全体像
2. 設定画面の開き方
3. Reach設定タブ（営業メール送受信）
4. MailAI2設定タブ（受信対応メール）
5. AI設定タブ
6. ライセンスタブ
7. 代理店設定タブ
8. 配置ファイルの設定（最重要）
9. データ保存場所一覧
10. データ共有フォルダの設定 v1.1追加
11. Gmailアプリパスワードの取得方法
12. トラブルシューティング

# 1. 設定の全体像

MailAI Reach を使い始めるには、以下の順番で設定を行ってください。

ライセンス認証

メールアカウント設定（Reach発信用）

メールアカウント設定（MailAI2受信対応用）

AI設定（APIキー入力）

代理店・担当者登録

配置ファイルの作成・設置（自社説明書・返信指示など）

完了 使用開始

所要時間：約20～30分

## メールアカウントは2つ必要です

MailAI Reach では用途別に2つの別アカウントを使用します。

用途	説明
Reach発信用	営業メールの送受信専用アカウント
MailAI2受信対応用	既存顧客からの問い合わせ対応専用アカウント

同じアカウントを両方に設定しないでください。受信監視が競合し正常に動作しません。

## 2. 設定画面の開き方

初回起動時はアプリ起動後に設定画面が自動で開きます。

2回目以降は以下の手順で開きます。

1. 「MailAI Reach を開く」をクリックして Phase 1 タブを開く
2. 上部アクションバーの「設定」ボタンをクリック

設定ボタンは 管理者ロールのユーザーのみ 表示されます。

### 設定ダイアログのタブ構成

タブ名	内容
Reach設定	営業メール送受信用のSMTP/IMAP設定
MailAI2設定	受信対応メール用のSMTP/IMAP設定
AI設定	AIプロバイダー・APIキー・モデル設定
ライセンス	ライセンスキーの確認・認証解除
代理店設定	担当者・代理店の登録・管理

### 3. Reach設定タブ（営業メール送受信）

営業メールの送信・返信受信に使うメールアカウントを設定します。

SMTP（Reach用・発信アカウント）

IMAP（Reach用・受信アカウント）

#### 設定項目

項目	説明	例
メールアドレス	送信元アドレス	sales@your-company.com
パスワード	アプリパスワード推奨（Gmail）	（16桁）
SMTPサーバー	送信サーバーのアドレス	smtp.gmail.com
SMTPポート	送信ポート番号	587（TLS）または465（SSL）
IMAPサーバー	受信サーバーのアドレス	imap.gmail.com
IMAPポート	受信ポート番号	993（SSL）
1日の送信上限	スパム判定防止のため上限を設定	50～100件を推奨

#### 主要メールサービスのサーバー設定

サービス	SMTPサーバー	IMAPサーバー	SMTPポート	IMAPポート
Gmail	smtp.gmail.com	imap.gmail.com	587	993
Outlook/Office365	smtp.office365.com	outlook.office365.com	587	993
Yahoo!メール	smtp.mail.yahoo.co.jp	imap.mail.yahoo.co.jp	587	993
さくらインターネット	管理画面で確認	管理画面で確認	587	993
Xserver	sv〇〇〇.xserver.jp	sv〇〇〇.xserver.jp	587	993

#### 接続テスト

すべて入力したら「接続テスト」ボタンをクリックしてください。

「接続成功」と表示されれば設定完了です。失敗した場合は12. [トラブルシューティング](#) を参照してください。

#### データ共有（複数PC間で共有）

Lemon Squeezy ライセンスは最大5アカウントまで有効化できます。複数PCで同じ企業DB・提案資料を使いたい場合は、NASやネットワークドライブを「共有フォルダ」として設定してください。

## 設定画面の UI 要素 ( Reach設定タブ下部 )

UI要素	説明
現在の共有状態ラベル	「共有中: / / / /NAS / /MailAIReach」または「ローカル保存中 (共有なし)」を動的に表示
共有フォルダパス入力欄	UNCパス ( / / / /server / /share ) またはドライブパス ( Z: / /MailAIReach ) を入力
「参照...」ボタン	フォルダブラウザダイアログを開く
「共有フォルダに切り替え」ボタン	パス検証・フォルダ作成・DBとspecファイルのコピー ( 初回のみ ) ・設定保存を実行
「共有を解除」ボタン	共有設定を解除してローカル保存に戻す

共有フォルダが一時的に切断 ( NAS電源OFF・ケーブル抜け等 ) された場合は、ローカルの reach.db にフォールバックします。再接続後に設定を行わないと、データの分岐が発生する場合があります。

共有フォルダに移行しても config.json・license.dat はローカルに残ります。各PCで個別にライセンス認証・メールアドレス設定が必要です。

再起動後から反映されます。「共有フォルダに切り替え」実行後は一度アプリを再起動してください。

## 4. MailAI2設定タブ（受信対応メール）

既存顧客からの問い合わせ対応に使うメールアドレスを設定します。

基本的な設定項目はReach設定タブと同じですが、送信者名の欄が追加されています。

追加項目	説明	例
送信者名	返信メールの差出人名として表示される名前	AiToolLabo

送信者名を空欄にするとメールアドレスがそのまま差出人名として表示されます。

必ず Reach設定とは別のメールアドレスを設定してください。

例：

Reach発信用 sales@your-company.com

MailAI2受信対応用 support@your-company.com

## 5. AI設定タブ

AIプロバイダーとAPIキーを設定します。画面上部のドロップダウンで使用するAIを選択し、そのAPIキーを入力します。

### AIプロバイダーの選択と使い分け

プロバイダー	特徴	月額コスト目安	こんな方に
OpenAI (GPT-4o)	高性能・安定。初めての方に最も推奨	1,000～3,000円	まずはこれで始めたい
Claude (Anthropic)	日本語の文章品質が高い・長文に強い	1,000～3,000円	提案文の質にこだわりたい
Gemini (Google)	コストパフォーマンスが良い	500～1,500円	APIコストを抑えたい
Ollama (ローカル)	完全無料・インターネット不要	0円	コストをかけたくない

1日10～30社へのHP解析+提案文生成を想定した目安です。実際の使用量により変動します。

### APIコストの仕組み

処理	AI使用	1回あたりの目安
Phase 2 HPスキャン	なし	0円
Phase 3 HP解析	あり	約1～3円/社
Phase 3 提案文生成	あり	約1～3円/社
Phase 3 SNS再スコアリング	あり	約0.5～1円/社

Ollama (ローカルLLM) を使用すればAPIコストは一切かかりません。ただし、GPUが搭載されていない一般的なPCでは応答速度が遅くなる場合があります。

### APIキーの取得先

プロバイダー	APIキー取得先
OpenAI	<a href="https://platform.openai.com/api-keys">https://platform.openai.com/api-keys</a>
Claude	<a href="https://console.anthropic.com">https://console.anthropic.com</a>
Gemini	<a href="https://aistudio.google.com/app/apikey">https://aistudio.google.com/app/apikey</a>
Ollama	APIキー不要 ( <a href="https://ollama.com">https://ollama.com</a> からインストール)

### 設定手順

1. 「AIプロバイダー」ドロップダウンから使用するサービスを選択
2. 該当するAPIキーを入力 (複数のサービスのキーをまとめて登録しておくことも可能)
3. モデル欄は初期値のまま通常は変更不要

4. 「保存」をクリックして完了

推奨モデル（初期値）

プロバイダー	モデル
OpenAI	gpt-4o
Claude	claude-sonnet-4-20250514
Gemini	gemini-1.5-pro
Ollama	llama3.1

## 6. ライセンスタブ

### ライセンス認証手順

1. Lemon Squeezy からの購入確認メールを開く
2. メールに記載されているライセンスキーをコピー
3. 設定画面の「ライセンス」タブを開く
4. ライセンスキーを貼り付けて「認証する」をクリック
5. 「認証成功」と表示されれば完了

認証にはインターネット接続が必要です。

まだ購入していない場合は「購入ページを開く」ボタンから購入手続きができます。

### オフライン時の動作

直近の認証から 7日以内 であればオフラインでも起動できます。

7日を超えると再接続・再認証が必要です。

### PC変更・乗り換え時

サポート ( support@aitoolabo.com ) までご連絡ください。

## 7. 代理店設定タブ

営業マンの登録・管理と、代理店情報・管理者パスワードの設定を行います。

営業マンは最低1名以上登録しないとアプリが起動しません。

### 管理者パスワードの設定

画面上部の「管理者パスワード設定」欄にパスワードを入力することで、管理者選択時にパスワード認証を追加できます。

空欄にすると誰でも管理者を選択できます。

### 代理店情報の入力

代理店として運用する場合に設定します。個人利用の場合は空欄のまま構いません。

項目	説明
代理店コード	代理店識別コード（任意）
代理店名	代理店の名称
代理店メールアドレス	代理店の連絡先メール
マージン率（%）	代理店マージン率（デフォルト：30%）

### 営業マンの追加手順

1. 画面下部「+ 追加」ボタンをクリック
2. 氏名・メールアドレス・コードを入力
3. 種別（管理者 / 営業担当）を選択して登録

種別	利用できる機能
管理者	Phase 1～5すべてのタブ + 設定画面
営業担当	Phase 3（提案・送信）・企業管理・ダッシュボードのみ

### ロールの変更・削除

ボタン	機能
編集	氏名・メール等の情報を変更
削除	営業マンを削除
管理者に変更	営業担当 → 管理者に昇格
営業担当に変更	管理者 → 営業担当に変更

## 8. 配置ファイルの設定（最重要）

AIが提案文を生成する際に参照する 自社情報・サービス説明・返信指示 などのファイルを設置します。

このフォルダの内容がAIの回答品質を直接左右する最重要設定です。

### フォルダの場所

```
%APPDATA%\MailAIReach\spec/  
  docs/   自社説明書・サービス資料を置くフォルダ  
  needs_tags_config.csv  ニーズタグ設定  
  reply_guidelines.txt   AI返信指示ファイル  
  free_mail_domains.txt  フリーメールアドレスリスト（変更不要）
```

共有フォルダを設定している場合（10章参照）、spec フォルダは共有フォルダ内に作成されます。設定画面の「データフォルダを開く」ボタンで現在の実際の保存先を確認できます。

### 8-1. docs フォルダ（自社説明書・サービス資料）

AIが提案文を生成するときに自動的に読み込む資料を置くフォルダです。

ファイル形式：.md（Markdown）または.txt（テキスト）のみ

推奨する配置例：

```
spec/docs/  
  company_profile.md   自社紹介・強み・実績  
  service_detail.md    提供サービスの詳細説明  
  faq.md               よくある質問と回答  
  case_studies.md     導入事例・成功事例  
  approach_policy.md  営業アプローチの方針・禁止事項
```

ファイルは何個でも追加できます。フォルダ内のすべての.md.txtファイルが自動で読み込まれます。

### 8-2. reply\_guidelines.txt（AI返信指示ファイル）

AIが提案文を生成する際の トーン・禁止事項・必ず含める内容などを指示するファイルです。

### 8-3. needs\_tags\_config.csv（ニーズタグ設定）

Phase 2のHPスキャンでAIが判定する「ニーズタグ」の設定ファイルです。業種・ターゲットに合わせてカスタマイズできます。

列名	説明
tag	タグ名（Phase 3の企業情報パネルに表示）

keywords	検出キーワード（スペース区切りで複数指定）
weight	スコアへの影響度（数値が大きいほど高影響）

## 9. データ保存場所一覧

### MailAI Reach のデータ

ファイル/フォルダ	保存場所	内容
reach.db	%APPDATA% / MailAIReach / (共有時: 共有フォルダ直下)	企業リスト・送受信履歴・ステータス等
config.json	%APPDATA% / MailAIReach /	アプリ設定 (AI・SMTP/IMAP) 常にローカル
error.log	%APPDATA% / MailAIReach /	エラーログ 常にローカル
spec / docs /	%APPDATA% / MailAIReach / spec / do cs / (共有時: 共有フォルダ内)	AI参照用の自社説明書
reply_guidelines.txt	%APPDATA% / MailAIReach / spec / (共有時: 共有フォルダ内)	AI返信指示
needs_tags_config.csv	%APPDATA% / MailAIReach / spec / (共有時: 共有フォルダ内)	ニーズタグ設定
free_mail_domains.txt	%APPDATA% / MailAIReach / spec / (共有時: 共有フォルダ内)	フリーメールアドレス

共有フォルダを設定した場合、reach.db と spec フォルダーが共有フォルダに移動します。config.json・license.dat・trial.dat・ログファイルは各PCのローカルに残ります。

### MailAI2 のデータ

ファイル	保存場所	内容
mail_history.csv	%APPDATA% / MailAI /	メール対応履歴
chat_history.csv	%APPDATA% / MailAI /	チャット対応履歴
processed_uids.json	%APPDATA% / MailAI /	処理済みメールUID

### バックアップ推奨ファイル

ファイル	重要度	理由
reach.db		全企業・送受信データ
spec / docs / フォルダ		カスタマイズした自社資料
reply_guidelines.txt		カスタマイズした返信指示
needs_tags_config.csv		カスタマイズしたニーズタグ
config.json		再設定可能

## 10. データ共有フォルダの設定 v1.1 追加

複数PCで企業DB・提案資料を共有する

Lemon Squeezy ライセンスは最大5アカウントまで有効化できます。複数のPCから同じ企業リスト・送受信履歴・提案資料を参照したい場合に、NAS・ネットワークドライブ・共有フォルダ（SMB）を「共有フォルダ」として設定します。

### 何が共有され、何がローカルに残るか

データ	共有フォルダへ移動	ローカルに残る	理由
reach.db		—	複数PCで共有するデータ
spec/docs/		—	複数PCで共有するデータ
spec/*.txt / *.csv		—	複数PCで共有するデータ
config.json	—		PCごとに異なるSMTP/IMAP設定
license.dat / trial.dat	—		PCごとに個別にライセンス管理
error.log	—		各PCのログ

### 設定手順（5PC運用の例）

#### Step 1：1台目（代表PC）の設定

設定 Reach設定タブ 画面下部「データ共有（複数PC間で共有）」セクションを開く  
共有フォルダパスを入力（例: / /NAS /MailAIReach）  
「共有フォルダに切り替え」をクリック  
既存DBのコピー確認ダイアログが表示 「はい」でコピー  
アプリを再起動

#### Step 2：2～5台目の設定

設定 Reach設定タブ 同じパスを入力（例: / /NAS /MailAIReach）  
「共有フォルダに切り替え」をクリック  
共有フォルダに既存の reach.db があればコピーはスキップ  
アプリを再起動

### 注意事項

再起動後から反映されます。「共有フォルダに切り替え」実行直後はアプリを再起動してください。

config.json・ライセンスファイルはローカルのまま残ります。各PCで個別にライセンス認証・メールアカウント設定が必要です。

共有フォルダが一時的に切断された場合（NAS電源OFF・ケーブル抜けなど）はローカルの reach.db に自動フォールバックします。再接続後にフォールバック中に操作したデータは手動で同期が必要です。

同時に複数PCから書き込みが発生した場合のデータ競合については、SQLiteのロック機構で保護されますが、ネットワーク遅延が大きい環境では書き込みが遅くなる場合があります。

## 共有を解除する場合

設定 Reach設定タブ 「共有を解除」ボタンをクリックすると、ローカル保存に戻ります（再起動が必要です）。共有フォルダ内のデータはそのまま残ります（自動削除されません）。

## 11. Gmailアプリパスワードの取得方法

Gmailを使用する場合、通常のパスワードではなく アプリパスワード が必要です。

1. Googleアカウント設定を開く (<https://myaccount.google.com/>)
2. 左メニュー「セキュリティ」をクリック
3. 「2段階認証プロセス」を有効化(まだの場合)
4. 「アプリパスワード」をクリック
5. アプリ:「メール」、デバイス:「Windowsパソコン」を選択
6. 「生成」をクリック
7. 表示された 16桁のパスワード をコピー
8. MailAI Reach の設定画面のパスワード欄に貼り付け

アプリパスワードは表示後に再確認できません。コピーした直後に設定してください。

## 12. トラブルシューティング

### Q. 接続テストが失敗する (Gmail)

A. 以下を順番に確認してください。

2段階認証が有効になっているか

アプリパスワード (16桁) を使用しているか (通常のパスワードは不可)

SMTPポート 587 / IMAPポート 993 になっているか

---

### Q. 接続テストが失敗する (独自ドメイン)

A. サーバー管理画面でIMAPサーバー名・SMTPサーバー名を再確認してください。

ポートは IMAP: 993 143、SMTP: 587 465 を試してみてください。

---

### Q. ライセンス認証が失敗する

A. インターネット接続を確認してください。VPN使用中の場合は一時的に無効にして試してください。

解決しない場合は support@aitoolabo.com までライセンスキーを添えてご連絡ください。

---

### Q. AI接続テストが失敗する

A. APIキーの入力ミス・前後のスペース混入を確認してください。

各プロバイダーのアカウントで残高・利用制限も確認してください。

---

### Q. 担当者を登録したのに 設定ボタンが表示されない

A. ランチャーで選択した担当者のロールが「管理者」になっているか確認してください。

「営業担当」ロールでは設定ボタンは表示されません。

---

### Q. 共有フォルダに切り替えたがデータが反映されない

A. アプリを再起動してください。設定変更は再起動後に有効になります。

再起動後もローカルデータが表示される場合は、共有フォルダパスに誤りがないか・フォルダが存在するかを確認してください。

---

### Q. 共有フォルダへのアクセスが切断された

A. 共有フォルダが存在しない・アクセスできない場合は自動的にローカルの reach.db にフォールバックします。NASやネットワークドライブの接続状態を確認し、再接続後にアプリを再起動してください。

---